

change.org Japan

Change.org Japan 活動報告書 2018



Change.orgとは?

世界で展開されているChange.orgのビジョンとミッション、そしてChange.org Japanについて、ご説明します。

Change.org (チェンジ・ドット・オーグ) は2007年、アメリカで社会起業家のベン・ラトレイによって創設された、社会にポジティブな変化を起こしていくためのコミュニティサイトです。2011年より、署名活動に特化したプラットフォームへとスタイルを転換。2012年から、世界各地にオフィスを展開し、サービス提供の場を広げ続けています。

ネット社会が現実不及に疑念を持つ人はいるでしょう。

しかし、数年に一度の選挙を待たずして、日々、何かを変えられるのです。

Change.orgを通じて目指しているのは、皆を民主主義に巻き込むことです。

—ベン・ラトレイ、Change.org CEO/創設者



ベン・ラトレイ



Change.orgオフィスが
展開されている国

19ヶ国



全世界のユーザー数

2億人*

ビジョン(理想)

自分の意見や思いに価値があると信じられ、声に出して変化を起こすことが当たり前となる社会になること。

VISION: A world in which no one is powerless and making change is a part of daily life.

ミッション(使命)

誰もが「変えたい」気持ちを形にし、より良い社会を実現できるよう、人々をエンパワーすること。

MISSION: To empower people everywhere to create the change they want to see.

*2019年3月現在、Change.org調べ

Change.org日本語版の開設は2012年。ベンの理念に共感したハリス鈴木絵美が単身でアメリカから日本へ赴き、日本語版サイトを立ち上げました。

2017年から一般社団法人Change.org Japanを設立。「**「変えたい」気持ちを形に**」をキャッチフレーズに、プラットフォームを運営しています。

ハリス鈴木絵美 プロフィール Emmy Suzuki Harris

米国人の父と日本人の母の間に生まれ、高校卒業まで日本で育つ。マイエール大学卒業後はマッキンゼー&カンパニー、オバマ氏の選挙キャンペーンスタッフ、ソーシャルインキュベーター企業Purposeの立ち上げなどを経て、2012年にChange.org日本語版立ち上げのために帰国、2015年からChange.org アジア・ディレクターに就任。



ハリス鈴木絵美



キャンペーンとは？

Change.orgでは、世界中の誰もが署名を使ったキャンペーンを立ち上げることができます。その仕組みと成功事例をご紹介します。

Change.orgの「キャンペーン」の考え方

小さな変化であっても、成功を勝ち取ること。そのために、以下3つのポイントを大事にしています。

明確な目標・ゴールがあること

ポジティブな変化を求め、共感に訴える呼びかけがされるキャンペーンは、成功に繋がる傾向があります。

対話したい相手が決められていること

署名の提出は、「あなたの起こしたい変化を実現できる立場にいる人(=意思決定者)」と対話を作り出すための手段です。政治家だけでなく、自治体や企業、教育機関の担当者など、相手が具体的に想定されているキャンペーンは、成功に近づきます。

期限やアクションが設定されていること

「署名を集める期間」や「署名を提出する希望の日取り」、「署名への返答期限」など、期限のあるキャンペーンも、成功しやすいです。具体的な課題について、いつまでに何をするのか明確に示したキャンペーンの方が賛同を集めやすいでしょう。

例えば世界では、2018年、こんなChangeが実現しました



フランス・黄色いベスト運動

燃料価格の高騰に対する抗議運動「黄色いベスト運動」の一環として、展開された署名運動。マクロン大統領がChange.org上で直接応答したことが話題を呼びました。



アメリカ・スターバックスが環境に優しいコップ導入へ

大好きなスターバックスに、環境に配慮したコップの使用を求めた署名キャンペーン。ふたりの11歳の声が成功を納めました。

理想とする「キャンペーン」のインパクトサイクル

Change.orgでは、署名を集めて声を届け、社会に変化を起こす一連のプロセスを「キャンペーン」と呼んでいます。

大きな社会変革は、小さな変化の積み重ね。誰もが変化を起こす主役になれる、自分にもその力があると信じられるようになるサイクルを目指しています。

What You Do

あなたの考えや行動が、大きな共感を招き、社会を変えるきっかけになります。

What We Do

Change.orgは署名キャンペーン機能と、それをサポートする様々なサービスを提供しています。



STEP 0

気になることや、
社会の状況で変えたい点がある

情報提供

Change.orgのウェブサイトやブログ、ニュースレターでは、他の人の立ち上げたキャンペーンや、成功事例やノウハウを提供しています。「同じ思いの人がいること」「自分にもできることがあること」を知るチャンスです。



STEP 1

Change.orgで署名を使ったキャンペーンを立ち上げ、拡散する

キャンペーンのサポート

Change.orgでは署名キャンペーン機能を無料で提供しています。「各SNSへの拡散ボタン」や、「賛同者へキャンペーンの進捗を伝えるメール配信機能」など、共感を集める機能も充実しています。



STEP 2

集めた署名を意思決定者へ届け、
対話をうながす

署名提出のサポート

集まった署名やコメントをPDF/CSVでダウンロードできる機能により、署名提出の準備もカンタンに。また、提出先とのアポイントメントの取り方、メディアへの周知の方法、記者会見のノウハウなどもご相談頂けます。



STEP 3

キャンペーン成功！
Changeが起こる

成功を知らせよう

「成功を宣言する」ボタンを押すことで、賛同者にお知らせすることができます。Change.org blogの「チェンジメーカーストーリー」では、成功をおさめたキャンペーン発信者へのインタビューも行なっています。

Change.org Japanで成功したキャンペーン①

もう、一人も虐待で死なせたくない。

総力をあげた児童虐待対策を求めます！

発信者：なくそう！子どもの虐待プロジェクト2018 宛先：小池百合子都知事、菅義偉官房長官

提出された署名

102,505通

日本社会全体に大きな衝撃を与えた、5歳の幼い女の子が虐待によって命を落とした事件。専門家やオピニオンリーダーの提言や世論の関心の高まりを受け、政府は児童福祉司の大幅な増員や、警察との連携の見直しなどを含めた児童虐待防止緊急総合対策を発表しました。Change.orgで立ち上がったこのキャンペーンには、短期間に10万名を超える賛同が集まり、専門家の提言を後押しするとともに、この問題に関心を持つ人たちの可視化につながりました。



POINT 多くの発起人・共同発起人の関わる大型キャンペーンも、Change.orgのシステムを使うことで、短期間で効果的に運営することができます。

Change.org Japanで成功したキャンペーン②

カバーマーク、ケサランパサラン、イミュの

ピアスグループは化粧品の動物実験をやめてください！

発信者：Cruelty Free Beauty 美しさに犠牲は払わないキャンペーン実行委員会 宛先：ピアス株式会社 代表取締役社長 阪本和俊

提出された署名

21,166通

2013年から動物実験の廃止を訴える活動をしてきた「美しさに犠牲は払わないキャンペーン実行委員会」。動物実験を続けている化粧品メーカーであるピアスグループに、2万名を超える署名を提出しました。10月末の提出後、2018年度内に動物実験が廃止されることが決定しました。



POINT 長年に渡り活動している団体も、Change.orgのキャンペーンで新しい賛同者に会うことができます。

また、ピアスグループの担当者は、キャンペーンページに寄せられた賛同者の声も読んでいたそうです。署名の人数だけでなく、具体的な声もあったことが意思決定者を動かした事例といえるでしょう。

Change.org Japanで成功したキャンペーン③

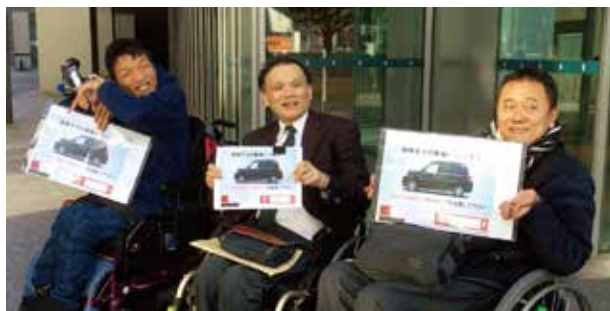
車いすでの乗車に15分!?

ジャパンタクシーのスロープを改善して下さい。

発信者:中村 仁 宛先:ジャパンタクシー関連部署 トヨタ自動車

提出された署名

11,715 通



車いすに乗ったまま乗車できるはずのユニバーサルデザインタクシーに、「車いす用のスロープ設置に手間も時間もかかる」と乗車拒否をされた中村さんは、署名キャンペーンを立ち上げメーカーへ直訴。2019年3月に、スロープの設置や乗りやすさが改善された新車両が発表されました。

キャンペーンに寄せられた賛同の声

実際に不便を感じられた当事者の方の声は大事ですね。トヨタとタクシー会社、運転手の方のご意見も聞いてみたいです。障害や体が不自由な方にとって、使いやすいように現状が変わるといいですね。

車椅子乗車拒否問題は障害者だけでなく、車椅子を使わなければ外出しにくい高齢者の問題でもあります。かつて老母を病院に救急搬送し、入院させてもらえず、返された時、救急隊員がうちから持ち出した車椅子や大量の毛布等をタクシーに載せてもらったのが大変だったことを思い出しました。

POINT 署名運動が初めての個人の方も、キャンペーンを立ち上げ、社会を動かすことができます。Change.orgスタッフが活動をサポートしたことで、中村さんとトヨタとの対話はより充実したものになりました。

当初トヨタ側からは「署名提出は郵送で構わない」と伝えられていましたが、Change.orgスタッフが交渉を重ね、中村さんが直接手渡しと対話をする機会を実現。名古屋本社まで同伴しました。このページに掲載されている写真はすべて、その際にスタッフが撮影したものです。

また後日、タクシーの改善が決まった際には、署名提出時に同席していた担当の方が、中村さんのご自宅まで報告に来られたそうです。



Change.org Japanで成功したキャンペーン④

静岡県富士市の全公立小中学校に
一刻も早くエアコンの設置を！提出された署名
6,000通+

発信者：Imada Kyota 宛先：小長井義正富士市長、富士市教育委員会

2018年の夏は猛暑となり、公立小中学校では熱中症患者や死者がでるなど、エアコン不設置が大きく問題化されました。Change.orgでも数多くの関連キャンペーンが立ち上がりました。静岡県富士市では「後輩たちのために」と署名を集めた高校生が、富士市長に署名を直接手渡し、対話を実現。同市内の全公立小中校へのエアコン設置も決定しました。



POINT 学生でもキャンペーンを立ち上げ、行政や教育委員会に直接声を届けることができます。* 富士市のキャンペーンでは、進捗にあたってスタッフによるサポートも行いました。

* 16歳未満のユーザーによるキャンペーン立ち上げには、保護者の同意書が必要です。

主催イベント・キャンペーン立ち上げのためのワークショップ



いつでも、誰でも、どこからでもキャンペーンを立ち上げることができるChange.org。もっと多くの人にキャンペーンを立ち上げる力を手にして欲しい。そんな想いをもとに、2018年はふたつのワークショップを主催しました。

2018年7月21日(海の日)には、環境問題キャンペーン立ち上げのためのワークショップ「プラスチックゴミから海を守ろう」を開催(ゲスト:一般社団法人JEAN 事務局長小島あずささん)。また、10月28日には「ブラック校則をなくそう!」プロジェクトと共催ワークショップ「学校をよくするためのネット署名道場」を開催しました(ゲスト:「ブラック校則をなくそう!」プロジェクトより渡辺由美子さん(NPO法人キッズドア理事長)、須永祐慈さん(NPO法人ストップいじめナビ副代表))。ワークショップ参加者によるキャンペーンも、実際に立ち上がっています。

2019年は、オフラインでのワークショップのほか、オンラインでの相談会なども企画しています。ご期待ください!



Change.org Japanの今後の目標

Change.orgを広く活用して頂けることが、社会を変えていく原動力のひとつになると私たちは信じています。

スタッフからのメッセージ

2018年のChange.org Japanを運営してきた3名のスタッフの想いをお届けします。



左から、武村若葉、ハリス鈴木絵美、遠藤まめた

絵美「社会を変えていく活動に関心を強めたのは、オバマ氏の選挙キャンペーンにボランティアとして関わった時。“社会には困っている人がこんなにもたくさんいること”や、“となりに住む人がどんなことに悩んでいるかも、私は知らなかったこと”を、初めてつきつけられました。困っている時に声をあげることができる仕組みづくりが大切だと思いましたね。

Change.org Japanの目指す日本社会の姿は、“誰もが声をあげられ、ポジティブな変化を起こせる社会”です。“声をあげることが難しい日本社会は、Change.orgをどう受け入れるだろう？”“日本に暮らす人たちはどう使ってくれるだろう？”“一緒に考えられることはないだろうか？”立ち上げのときのこんなワクワクは、今も持ち続けています」



武村若葉

若葉「現在の日本では、実際に制度を利用している市民と、制度をつくる側の対話の機会が少ない。市民と意思決定層をつなぎ、社会を改善していくお手伝いが、Change.orgならできると考えています」

武村若葉 プロフィール Wakaba Takemura

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、パリ大学大学院にてMBA取得。2009年よりPR会社に勤務。2013年3月よりフリーのPRプロデューサーとして活動を開始、Change.org日本チームに参加。2017年秋よりChange.org Japan広報ディレクター。



遠藤まめた

まめた「困っていることがあっても、声のあげ方がわからない。そんな人こそChange.orgを使って欲しいです。仲間は必ずいますし、あなたができる声のあげ方が必ずあります。いろいろなキャンペーンページを見て、あなたにもできることをぜひ探してください。

遠藤まめた プロフィール Mameta Endo

1987年埼玉県生まれ。トランスジェンダー当事者としての自らの体験をきっかけに、学生時代よりLGBTの子ども・若者支援に関わる。10代から23歳までのLGBT(かもしれない人を含む)のための居場所・にじーず代表。2018年4月よりChange.orgのキャンペーナーとして勤務。

Change.org 会員募集のお知らせ



ともに、「変えたい気持ち」を応援しませんか？

いただいたご支援は、より多くのキャンペーンへのサポートの提供や、チーム拡大など、社会変革をより大きなスケールで起こしていく活動のために使われます。

寄付は月々1,000円～

Change.orgのサイト上からお申し込み頂けます(各種クレジットカード、PayPal決済に対応)。会費の金額変更や退会はいつでも可能です。

会員特典もあります

Change.org会員になっていただいた皆様には、感謝のしるしに以下の特典をご用意しています。

- ・ Change.orgの新機能の登場をいち早くお知らせ
- ・ 話題のキャンペーンの裏側を会員限定レポートとして毎月お届け
- ・ 会員限定のイベントやウェビナーも企画中

チェンジ・ドット・オーグ・ジャパン
団体概要 名称 一般社団法人 Change.org Japan
設立 2017年7月
役員 代表理事：ハリス鈴木 絵美
理事：武村 若葉
理事：佐藤 大吾

Change.org Inc. は、世界中の誰もが「変えたい」という思いを形にできる社会を実現することをミッションに掲げる、サンフランシスコに本社を置く社会的企業です。世界のあらゆる場所で市民の声を届ける活動を後押ししています。

非営利型一般社団法人Change.org Japanは、Change.orgの機能を使って、日本で発信されたキャンペーンや、日本に住むChange.orgのユーザーのサポートを行っています。

一般社団法人 2018 年度 会計報告

自：2018年1月1日 至：2018年12月31日 (単位：円 [税込])

貸借対照表

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		役員借入金	43,200
現金	17,400	預り金	141,816
普通預金	11,234,983	前受金	0
現金・預金 計	11,252,383	未払法人税	0
(その他流動資産)		流動負債 計	185,016
未収入金	0	負債の部合計	185,016
前渡金	0	正味財産の部	
前払費用	0	【正味財産】	
立替金	0	正味財産	11,067,367
その他流動資産 計	0	【うち当期利益】	10,428,023
流動資産合計	11,252,383	正味財産 計	11,067,367
【固定資産】		純資産の部合計	11,067,367
固定資産合計	0	負債・純資産の部合計	11,252,383
資産の部合計	11,252,383		

損益計算書

【売上高】	寄付金収入	4,013,406	
	会費収入	21,939,287	
	イベント収入	60,900	
	売上高 計	26,013,593	26,013,593
	売上総利益		26,013,593
【販売費及び一般管理費】	販売費・一般管理費計	15,540,321	
	営業利益		10,473,272
【営業外収益】	受取 利息	39	
	雑収入	1,312	
	営業外収益 計	1,351	
【営業外費用】	支払 利息	0	
	営業外費用 計	0	
	経常利益		10,474,623
【特別利益】	特別利益 計	0	
【特別損失】	特別損失 計	0	
	税引前当期純利益 (損失)		10,474,623
	法人税、住民税及び事業税		46,600
	当期純利益 (損失)		10,428,023

販売費及び一般管理費内訳

役員報酬	2,700,000
給料手当	8,550,000
法定福利費	1,626,753
外注費	212,805
会議費	70,886
旅費交通費	112,253
通信費	110,000
消耗品費	22,543
支払手数料	43,746
地代家賃	648,000
研修費	7,000
イベント関連費	312,514
経理代行費	569,160
福利厚生費	22,612
新聞図書費	3,575
諸会費	2,160
システム利用料	112,783
寄付金	413,151
雑費	380
販売費・一般管理費計	15,540,321



「変えたい」気持ちを形に

「Change.org Japan 活動報告書2018」奥付

発行 一般社団法人Change.org Japan 発行日 2019年4月30日 デザイン・DTP 加藤悠二 (beardbears.com)

URL <https://www.change.org/ja> Facebook <https://www.facebook.com/Change.orgJapan/> TwitterID change_jp

お問い合わせ先(ヘルプデスク) <https://help.change.org/s/contactsupport?language=ja>